

かねがさき 社福だより



社会福祉法人 金ヶ崎町社会福祉協議会
イメージキャラクター かねっぴー

2017年 第229号



イッコ、ニコ、サンコンさんの 支え愛、助け愛の講演会



講師のサンコンさんは、とても気さくで
ダンディな紳士でした!!

平成29年12月21日発行

主な内容

- P1～2 第43回金ヶ崎町社会福祉大会
- P3 第70回岩手県社会福祉大会
平成29年度全国社会福祉大会
- P4 福祉作文入賞者
- P5～6 福祉作文最優秀作品
- P7 福祉懇談会
- P8 生活福祉資金
寄付の報告
かいちょうのつぶやき

第43回金ヶ崎町社会福祉大会開催

11月16日(木)中央生涯教育センターで来賓や福祉関係者、一般町民約350人が参加し、第43回金ヶ崎町社会福祉大会を開催いたしました。

永岡幼稚園園児の元気いっぱいのお遊戯「風をきって」のオープニングアトラクションで幕を開け、社会福祉やボランティア活動で功労のあった12名と寄付活動等に貢献した3名5団体に表彰状や感謝状の授与、伝達を行いました。

その後、“支え合いの地域づくり”など5項目の取り組みを進めることを盛り込んだ「大会宣言」が満場の拍手で採択されました。

記念講演では、日本ギニア友好協会広報官のオスマン・サンコン氏による「イチ、ニ、サンコンの支え愛、助け愛」というテーマで、人と人との支え合いや助け合い、互いの違いを認めることの大切さを説き、明るいキャラクターとユーモアで、会場を沸かせてくれました。



金ヶ崎町社会福祉大会長表彰

●社会福祉事業功労者 8名 【多年にわたり、社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進に貢献した方】



いとうとしゆき
伊藤 寿幸 様
(特別養護老人ホーム友愛園
業務係長)



たかはし
高橋 オリミ 様
(金ヶ崎町社会福祉協議会指定訪問入浴
介護事業所 管理者兼係長兼看護師)



さとうあけみ
佐藤 明美 様
(特別養護老人ホーム友愛園
主任介護支援専門員)



みたあきよ
三田 章代 様
(金ヶ崎町社会福祉協議会指定訪問介護事業所
管理者兼主任兼サービス提供責任者)



やまもとちか
山本 千加 様
(友愛園デイサービスセンター 介護員)



いしかわちずこ
石川 千鶴子 様
(金ヶ崎町社会福祉協議会指定訪問介護事業所
訪問介護員)



ちばけいこ
千葉 恵子 様
(金ヶ崎町手をつなぐ会会長)



すがわらつかさ
菅原 司 様
(金ヶ崎町社会福祉協議会 運転手)

●社会福祉奉仕(ボランティア)功労者 4名 【多年にわたり、奉仕活動に取り組み、社会福祉に貢献した方】



すがわらさだこ
菅原 貞子 様
(見守り支援ボランティア)



ちばみつお
千葉 光男 様
(雪かきボランティア)



てらかたけいこ
寺方 テイ子 様
(調理ボランティア)



いしもだみつお
石母田 光夫 様
(雪かきボランティア)

●感謝状 7組 【社会福祉事業の推進のために多大な活動資金をお寄せいただいた個人及び団体】



おの であ ひさ こ
小野寺 寿子 様
(ワークステーションかねがさき指定寄付)

えん どう ただ お
遠藤 忠雄 様
(ワークステーションかねがさき指定寄付)



かね が さきちゅうがっこう せい と かい
金ヶ崎中学校生徒会 様
(福祉基金寄付)



ゆ かい
かみしも結いの会 様
(福祉基金寄付)



さき おう かい
崎 奥 会 様
(福祉基金寄付)



たか はし ただ お
高橋 忠男 様
(福祉基金寄付)



なん ぶ ちよ れん
南部 千代連 様
(福祉基金寄付)

岩手県共同募金会長感謝状の伝達 1団体

【共同募金運動に多大な浄財をお寄せいただいた団体】



しゃかい ほけんろうむ しほうじん
社会保険労務士法人
たぐち じむしょ
田口事務所 様
(共同募金寄付)

第70回岩手県社会福祉大会

11月1日(水)岩手県民会館大ホールにおいて、第70回岩手県社会福祉大会が開催され、以下の方々が受賞されました。

●岩手県知事表彰 【多年にわたり、社会奉仕活動を行い、その功績が顕著な方】



おい かわ ひで お
及川 英男 様
(配食サービスボランティア)

●岩手県社会福祉大会会長表彰

【多年にわたり、社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進に功績が顕著な方】



みや もと ゆき こ
宮本 幸子 様
(主任児童委員)



さ さ き いく こ
佐々木 郁子 様
(民生委員・児童委員)

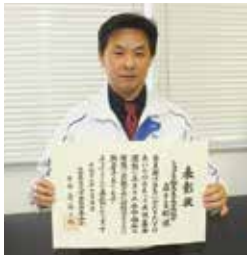


すず き みよ こ
鈴木 美代子 様
(元民生委員・児童委員)

平成29年度全国社会福祉大会

11月22日(水)東京都港区のメルパルクホールにおいて、全国社会福祉大会が開催され、当町のトヨタ自動車東日本労働組合岩手支部(志賀弘基支部長)が多年にわたる高額募金寄付の功績により中央共同募金会会長から、優良地区・団体に対して贈られる表彰を受けました。これは、県内の企業関係では、唯一の受賞で長年にわたる活動が評価されたものです。

トヨタ自動車東日本労働組合岩手支部 様
(支部長 志賀 弘基 様)



●岩手県社会福祉大会会長褒賞

【多年にわたり、在宅介護者の介護に携わった方】



かわ ぐち しゅう こ
川口 祝子 様
(在宅介護者)



つた こ
蔦 ユキ子 様
(在宅介護者)



たか はし せつ こ
高橋 節子 様
(在宅介護者)

福祉作文入賞者表彰

●小学校低学年の部



*最優秀賞

いつまでも元気でね

^{きつ} ^{やま} ^{あおい}
橋 山 蒼 さん (第一小学校2年)



*優秀賞

いつもがんばるおじいちゃんとおばあちゃん

^{たか} ^{はし} ^{ゆう} ^か
高 橋 悠 花 さん (西小学校2年)

●小学校中学年の部



*最優秀賞

おじいちゃんおばあちゃんたちに!

^{わた} ^{なべ}
渡 辺 ナ ナ さん (金ヶ崎小学校4年)



*優秀賞

おばあちゃんのために

^{にし} ^め ^る
西 萌 瑠 さん (金ヶ崎小学校4年)



*審査員特別賞

人と人とのつながり

^{たか} ^{はし} ^る ^い
高 橋 琉 碧 さん (第一小学校4年)

●小学校高学年の部



*最優秀賞

社会福祉とぼく

^{たか} ^{はし} ^{たくま}
高 橋 逞 さん (三ヶ尻小学校5年)



*優秀賞

ケガから学んだこと

^{たか} ^{はし} ^{かえで}
高 橋 楓 さん (第一小学校6年)

●中学校の部



*最優秀賞

金ヶ崎町に必要なこと

^{こん} ^{りょう} ^が
昆 凌 雅 さん (金ヶ崎中学校3年)



*優秀賞

小さなことから大きな笑顔へ

^{あさ} ^{くら} ^{はやて}
朝 倉 颯 さん (金ヶ崎中学校3年)

福祉作文最優秀作品

小学校低学年の部



いつまでも元気でね

第一小学校2年 橘山 蒼

わたしの家ぞくは、おひいさん、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、わたしの六人です。ひいおじいちゃんは、わたしが生まれる前になくなってしまいましたが、しゃしんの顔を見ると、いつも、わたしのことをやさしく見まわってくれているようにみえます。

おひいさんのすごいなあとと思うところは、毎日、日記を書いているところです。わたしは、休みの日に日記を書いています。毎日つづけることはたいへんなことだと思います。わたしも、おひいさんのように、きめたことは、かならずつづけるようにしたいです。

おひいさんにかんしゃしていることは、おばあちゃんがいない時、いっしょにいてくれることです。学校から帰って、おばあちゃんがようじでない時でも、おひいさんがいてくれればあんしんです。やさしくおはなししてくれます。

このまえ、おひいさんがころんでけがをしてしまったので、車いすの生活になってしまいました。車いすでは、うまくうごけなかったで、わたしが、水やつかうものをはこんであげました。あるけるようになるかともしんばいでしたが、ようやく、つえをつかってあるけるようになったのでうれしかったです。

わたしは、ようちえんの時や一年生の時はかぜをひきやすかったので、お母さんが会社を休んだり、家ぞくみんなにしんばいをかけたりしました。二年生になるとかぜをひくこともなくなりじょうぶになってきたので、今度、もし、家族のだれかが、びょうきになったら、わたしがみんなをたすけたいです。

わたしは家ぞくみんなが大すきです。おひいさん、おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、ありがとう。いつまでも、元気でいてください。

小学校中学年の部



おじいちゃんおばあちゃんたちに！

金ケ崎小学校4年 渡辺 ナナ

わたしは、おじいちゃん、おばあちゃんといると、とても楽しい気持ちになります。なぜかというと、おじいちゃん、おばあちゃんは、わたしが知らないことをたくさん知っていて、話がおもしろいからです。また、昔の知しきをたくさんもっているからです。

同じ地区に住んでいるお年よりの人たちが昔のことを教えてくれたり、やさしく話かけたりしてくれる人が多いです。元気がよくて、お年よりに見えない人も多いです。

そして、わたしの登校班のパトロールのおじいちゃんもすごいところがたくさんあります。元気がよくて、みんなの遊び相手になってくれます。毎日、わたしたちが登校するときに「よし、今日も元気でな。」と、応えんしてくれます。わたしたちの名前もしっかりおぼえていて、いつも一人一人の名前をよんであいさつをしてくれます。だから、わたしも「よし、今日も一日がんばるぞ。」と思えます。そんなおじいちゃんが、大好きです。

わたしのおばあちゃんも大好きです。運動がとてとくいです。おばあちゃんは、バレーボールをやっています。テレビでよく放送されているママさんバレーに出場しています。それに、まだお仕事もしています。おじいちゃんやおばあちゃんたちのお世話をしあげるお仕事です。元気な時が多いけど、もうお年よりだからちょっと「つかれたな。」という時もあります。

でもえ顔をわたしに向けてくれます。それに、お料理もとても上手です。わたしは、おばあちゃんのご飯が大好きです。自分のおばあちゃんだけでなく、近くに住んでいるおばあちゃんたちも、朝に、「おはようございます。」と言うと、「いってらっしゃい。」と家族のように言ってくれます。帰りにも「おかえり。」と、やさしく声をかけてくれます。

こんなにやさしいおじいちゃん、おばあちゃんたちにかこまれて、わたしは本当にうれしいです。

そこで、わたしは、いつもお世話になっているおじいちゃん、おばあちゃんたちにおんがえしをしたいと考えています。

例えば、キャップハンディ体験でおそわった車いすのおし方や使い方です。もし、わたしの周りに車いすを使っている人がいたら、おしてあげたり助けてあげたりしたいです。また、白じょう体験でささえてあげるやり方や使い方をおそわったので、もし、そういう人がいたら助けてあげたいです。

せっかく人を助けられる方法を学んだので、体験学習で終わらせるのではなく、助けを必要としている人たちのために学んだ事を使いたいです。

わたしを楽しい気持ちにしてくれるおじいちゃん、おばあちゃん。今までたくさんのことをしてもらったので、これからはわたしがささえていきたいです。

小学校低学年の部



社会福祉とぼく

三ヶ尻小学校5年 高橋 暉

世の中にはいろいろな人々が生活しています。そして、その人々みんなが社会の中で幸福を感じることができるよう「福祉サービス」というものがあります。日本には、この「福祉サービス」がじゅう実しています。

ぼくの弟にはしょうがいがあります。ですから、生まれてすぐにお母さんとはなれて入院しました。ぼくが初めて弟をだっことしたのは生まれて二ヶ月たった頃、ぼくが5才の時でした。首がすわるのも、おすわりができるのも、立ち上がるのも、歩きはじめるのも他の子に比べるととてもゆっくりでした。それでも弟なりのペースでここまですくすくと成長できたのは、たくさんの人たちの支えと様々な福祉サービスのおかげです。

弟が2才になると、センターに通いはじめました。そこでたくさんのお会いがあり、弟もお母さんも通ってよかったと喜んでいました。弟が3才になった年、お母さんはそのままセンターに親子で通い続けるか、地元のようにち園に入れるか迷った末、地元のようにち園に通うことに決めました。そこでは弟の事情を分かった上で、快くむかえてくれました。弟がふつうのようち園ですごせているのは、先生の気配りとお友達のやさしさ、おうちの人たちの理解があったからだとお母さんはいつも感謝していました。

弟とすごしてきて、ぼくは気が付きました。確かに社会福祉がじゅう実してくらしやすい国だといえるかもしれませんが。しかし、それと同じくらい大切なのは、周りの人たちが受け入れることだと思います。しょうがい者、老人、病気の人などを絶対に差別してはいけません。弟の周りには差別する人は一人もいません。弟がしてもらったように、ぼくもどんな人でも受け入れて、仲良くしていこうと思います。

今、ぼくができることは、へんに気をつかうのではなくてふつうに接することだと思います。その上で、ちょっと勇気を出して「なにか手伝うことはありますか。」と声をかけることだと思います。例えば、学校でみんなのわの中に入れない人がいたときは、さそってみななどいっしょに遊ぶきっかけをつくりたいです。また、スーパーなどにいったときは、何かこまっている様子の人を見かけたら、「なにか手伝うことはありますか。」と声をかけます。今までは、声をかけた方がよいのかも…と思っても、行動にうつすことができませんでした。ですから、ぼくは声をかけるときにいる「ちょっとした勇気」を出せるようにがんばりたいです。

中学校の部



金ヶ崎町に必要なこと

金ヶ崎中学校3年 昆 凌 雅

みなさんは、金ヶ崎町をよくしよう、金ヶ崎町に貢献しようとして深く考えたことがありますか。大人は思っている、中学生などの学生はほとんど考えていないのが現実だと思います。

僕は、中学2年生の冬、金ヶ崎町議会に参加しました。そこで「外灯の設置をしてほしい。」と意見を述べました。しかし、歩行車数が少ない等の理由でその意見は認められず、他の議員の発言も結果的に認められませんでした。金ヶ崎町を変える発言の重さを実感しました。

では、金ヶ崎町はどんな住みやすい町を目指しているのでしょうか。僕が金ヶ崎町に必要なと思うことは二つあります。

1つ目は、町民が、自分自身だけでなく周りの人の状況や気持ちを考えて生活できるようにすることです。人への気づかいをすることでたくさんの方と触れ合い、より楽しい日常生活が送れると思います。

2つ目は、町民の声を聞ける場をもっと増やすことです。実際に住んでいる町民が不安なところ、不便なところを言い合い、みんなで一つ一つ解決することでよりよい金ヶ崎町にできるからです。町民の悩みを全員で共有し、変えようとするのも「福祉活動」の一つなのではないかと思っています。

また、中学校の生徒会活動で、毎月アルミ缶回収を行っています。僕も生徒会役員として自分でもアルミ缶を持参し、呼びかけをしています。しかし、協力してくれる人が少なく回収率がとても悪いことが課題となっています。アルミ缶がお金になり、そのお金で福祉施設の方々の役に立っているということは分かっていますが、はっきりとした行き先や、誰がどのように助かっているかは理解されていないと思います。だから「別に持ってこなくてもいい」と考える人が多くなっています。持ってきてくれた人でも「ただ持ってくればいい」と思っている人もいるかもしれません。僕たち生徒会役員は、中学生のボランティアで、どれくらいの人を助かるのか、周りの人にもっと伝えていかなければいけません。

このように、僕たちは身近なところから「社会福祉」に貢献できます。アルミ缶回収や募金活動、地域の清掃活動などもあります。これを中学生が「誰かの役に立っている」と実感して参加することが大切です。自分たちができる小さなことで困っている人を助けることができると分かれば、もっと多くの人に参加してくれるはずです。

福祉の町にするために、僕たちにできることは、ほんの少しなのかもしれませんが、まずは、地域の方々との関わりを増やし、学校での活動がより活発になるよう工夫していきたいです。

福祉懇談会

10月11日(水)～18日(水)まで、“誰もが健やかで安心して暮らせる地域づくり”を目指して、福祉懇談会を開催いたしました。

昨年度に続き、2年目となる今年度は、担当課の保健福祉センターの他に新たに子育て支援課を加え、当会と協働で、町民の皆さまと直接の対話形式で懇談し、さまざまな地域の情報や課題、福祉ニーズなどを聴くことができました。

今後、これらを整理、検討して、地域福祉の推進につながるように取り組んで参りたいと考えております。

開催日	会場	参加者
10月11日(水)	街地区生涯教育センター	22名
10月12日(木)	永岡地区生涯教育センター	12名
10月13日(金)	南方地区生涯教育センター	19名
10月16日(月)	西部地区生涯教育センター	11名
10月17日(火)	三ヶ尻地区生涯教育センター	12名
10月18日(水)	北部地区生涯教育センター	20名
合計		96名



*主な内容

- ・社福だよりの定期的な発行や情報発信の強化について。
- ・特別養護老人ホーム等の待機者について。
- ・待機児童について。
- ・世代間交流の先進事例について。
- ・見守りネットワークの構築と配食サービスについて。
- ・ボランティアやマンパワーの確保について。
- ・金ヶ崎学童保育所の跡地活用について。
- ・福祉センターの建設計画の進捗状況について。



南方地区 (10月13日)

- ・人口減少対策について。
- ・ゆいっこハウスの活動状況について。
- ・社会福祉協議会の財政状況について。
- ・福祉バスの利用について。
- ・老人クラブの運営について。
- ・金ヶ崎診療所の標示について。
- ・ワークステーションかねがさきの食堂や印刷作業について。



三ヶ尻地区 (10月17日)

■ 生活福祉資金・教育支援資金貸付のご案内 ■

生活福祉資金の教育支援資金は、所得の低い世帯に対し、学校教育法に基づく高等学校、高等専門学校、大学の入学・就学に必要な経費を貸付するものです。

教育支援資金の 種類と貸付額

資金種類	貸付限度額	据置期間	返済期間	貸付利子	
教育支援資金	教育支援費	高校 月額 3.5 万円以内 高専 月額 6.0 万円以内 短大 月額 6.0 万円以内 大学 月額 6.5 万円以内	卒業後 6 カ月 以内	20 年 以内	無利子
	就学支度費	50 万円以内			

※上記の貸付限度額では学費が不足する場合など、一定の要件に該当する場合には、教育支援費の貸付限度額を 1.5 倍とすることが可能です。

【注意事項】

- 申込から貸付、返済終了まで民生委員及び社会福祉協議会の関係者が世帯の相談支援を行います。
- 日本学生支援機構や母子寡婦福祉資金など他制度の活用が優先となります。(図 1 参照)

図 1 奨学金の優先順位

1	日本学生支援機構	給付型奨学金 (返済なし)
2	日本学生支援機構	第一種奨学金 (無利子)
3	社会福祉協議会	生活福祉資金 (無利子)
4	日本学生支援機構	第二種奨学金 (有利子)

- 合格発表前でも、入学願書・受験票の写しや納入期限が確認できる書類を添付して申込書の提出ができます。
 - 世帯の状況に応じて、生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援機関等の支援を利用いただくことがあります。
- ※詳しい内容については、お気軽にご相談下さい。(総務企画・地域福祉課 44-6060)

デイサービスを 職員全員でサポート

金ケ崎町社会福祉協議会
会長 佐藤 惇

今回は、ちょっとした取り組みを紹介します。

11月11日は「介護の日」です。この介護の日を迎えるにあたり11月を介護月間とし、「職員全員でデイサービス利用者をもてなす」取り組みを、11月1日から1ヶ月行いました。

デイサービス以外の職員が、利用者と直接触れ合う場を増やすために、朝玄関での出迎え、帰りもデスタッフと一緒に見送り、お茶等の提供、会話の相手をするというような取り組みです。

本来の業務に影響を及ぼさないようにするため、2名ずつ人選し2時間ほど利用者との触れ合いを中心に行いました。利用者は、いつもと異なる職員との触れ合いの中で、会話が広まり刺激に繋がって大変喜んでおりました。

初めての試みであり、当初の計画は1ヶ月でしたが、好評につき12月も継続して実施しています。

社会福祉協議会の職員は、このように工夫を凝らしながら様々な事業に取り組んでいます。



かいちょうの
つぶやき⑭

寄付の報告

平成29年9月12日から
12月10日までの受付分

○福祉基金

松本 俊一 さま 20,000円

阿部 長 さま 30,000円

及川 憲義 さま 30,000円

永岡地区自治振興祭実行委員会 さま
16,182円

金ケ崎町グランド・ゴルフ協会 さま
34,000円

柴田 信一 さま 30,000円

瘤木ゴルフ同好会 さま
15,186円

谷地下地区ふれあい感謝祭実行委員会 さま
30,630円

○物品寄付

介護福祉課へ 千田 隆 さま

回転ハンガー 1個



永岡地区自治振興祭実行委員会



金ケ崎町グランド・ゴルフ協会



瘤木ゴルフ同好会



谷地下地区ふれあい感謝祭実行委員会

社会福祉法人 金ケ崎町社会福祉協議会

☎029-4503

金ケ崎町西根南羽沢43 町福祉センター内

TEL: 0197-44-6060 FAX: 0197-44-6106

E-Mail: kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp

ホームページ: <http://www7.ocn.ne.jp/~kinshaky/>

★この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています

